

論文に用いる用語の表記において、現在、分野によって用いる用語表記が異なりますが、下記の用語につきましては、論文体裁の統一にご理解とご協力をお願いします。

堆肥	→	たい肥
排泄物	→	排せつ物
糞、フン	→	ふん
燐	→	リン 法律文においてフリガナが付されているためカタカナ
砒素	→	ヒ素 法律文においてフリガナが付されているためカタカナ

その他、元素名は原則としてカタカナ表記とする。

ナトリウム、カリウム、マグネシウム
フッ素、ホウ素 など

但し、金属は、鉄、銅、亜鉛 など 漢字表記とする。

家畜の一般的な呼称、例) ウシ、ブタ、ニワトリなどはカタカナで表記する。
熟語となる場合、例) 乳用牛、肥育豚、採卵鶏などでは漢字で表記する。

根拠は獣医畜産関連法規の中で環境に係わる部分で用いられる表記としました。くわえて、法律に係わる内容については、法規に記載される表記を活用して下さい。

また、上記以外にも著者によって異なった表記がされ、これまでも混合して使用されている言葉がいくつかありましたが、一般に読みやすいことを優先に、ある程度、表現や用語が全体を通じて統一されていることが好ましいと考えます。表現、用語の統一は論文査読におけるガイドラインとしても活用でき、論文作成時に著者が対応することで円滑な査読を受けられ、最終的には著者にとっても好ましい結果となります。

原則として接続詞、副詞、形容詞、複合語は「ひらがな」書きとし、後ろにはカンマを入れることとします。また、「みられる」や「わかる」の多用を極力避けましょう。

以下に具体的な例を記載しますので、参考として戴ければ幸いです。

***** (あ行) *****

「あげる」と「挙げる」

: 「あげる」と ひらがなを使用。(例) 以下に、例をあげる。

「あたり」と「当たり」、「当り」など

: 「あたり」と ひらがなを使用。(例) 1年あたり10個の台風が接近する。

「あつかう」と「扱う」

: 「扱う」と 漢字を使用。(例) ここで、…は…と取り扱った。

「あびる」と「浴びる」

: 「浴びる」と 漢字を使用。(例) 紫外線を浴びると…。

「あらたな」と「新たな」

: 「新たな」と 漢字を使用。(例) 新たな設備を導入して、…。

「あらわす」と「表す」

: 「あらわす」と ひらがなを使用。(例) ここで、…は…をあらわしている。

「あらわれる」と「現れる」

: 「現れる」と 漢字を使用。(例) …には、…が現れた。

「あわせて」と「合わせて」、「併せて」

: 「あわせて」と ひらがなを使用。(例) …と…とをあわせて…とした。

ただし、「組み合わせる」は漢字とする。

「いう」と「言う」、「いえる」と「言える」など

: 「いう」や「いえる」と ひらがなを使用。(例) これを、…という。

「いくつか」、「いくらか」と「幾つか」、「幾らか」

: 「いくつか」、「いくらか」と ひらがなを使用。(例) …となるいくつかの要因は…。

「いたる」と「至る」

: 「至る」と 漢字を使用。(例) 至るところに…。…に至るまで…。

「いっそう」と「一層」

: 「いっそう」と ひらがなを使用。(例) よりいっそうの観測が必要である。

「いったん」と「一旦」

: 「いったん」と ひらがなを使用。(例) **いったん**低下したが、…。

「いっぽう」と「一方」

: 「一方」と 漢字を使用。(例) **一方**、…は…。

「いれる」と「入れる」

: 「入れる」と 漢字を使用。(例) …には、…の数値を**入れた**。

(注) 「入」を「はいる」と読ませる場合はひらがなを使用する。

「はいる」の項、参照。

「うえで」と「上で」

: 「うえで」と ひらがなを使用。(例) …を考慮した**うえで**、…。

なお、「…〇〇の上で…」と位置を示す場合はと漢字を使用する。

「うける」と「受ける」

: 「受ける」と 漢字を使用。(例) …を**受け**、…。

「える」と「得る」

: 「得る」と 漢字を使用。(例) …という結果を**得た**。

「おおむね」と「概ね」

: 「概ね」と 漢字を使用。(例) …は**概ね**解消した。

「おきる」、「おこる」と「起きる」、「起こる」

: 「起きる」、「起こる」と 漢字を使用。(例) 洪水が**起こった**。

「おもな」、「おもに」と「主な」、「主に」

: 「おもな」と ひらがなを使用。(例) **おもな**原因は…である。

なお、「主要な原因は」とは使わず、「主要原因は」とするか、または、「おもな原因は」とする。

「および」と「及び」(「and」の意味)

: 「および」と ひらがなを使用。(例) …**および**…。

「および」と「及ぼす」(「影響を与える」の意味)

: 「及ぼす」と 漢字を使用。(例) 大きな影響を**及ぼした**。

***** (か行) *****

「かかわる」と「関わる」、「係わる」

: 「かかわる」と ひらがなを使用。(例) …に**かかわる**問題は、…。

「かた」と「方」

: 「方」と漢字を使用。(例) 書き方は、…。やり方は以下のとおり。

「**きわめて**」と「**極めて**」

: 「**きわめて**」と ひらがなを使用。(例) …は**きわめて**有効な方法である。

「**こうじる**」、「**こうずる**」と「**講じる**」と「**講ずる**」

: 「**講じる**」、「**講ずる**」と 漢字を使用。(「**講ずる**」の方が格式張っているように感じるが、どちらを使うかは任意) (例) …という施策を**講ずる**こととした。

「**こえる**」と「**超える**」、「**越える**」

: 「**超える**」と 漢字を使用。…の気温は、…℃を**超えた**。

: ただし、場所に関しては「**越える**」の漢字を使用。(例) 峠を**越えた**。

「**ごと**」と「**毎**」

: 「**ごと**」と、ひらがなを使用。(例) …を年**ごと**にみれば、…。

「**こととする**」、「**こととした**」と「**事とする**」、「**事とした**」

: 「**こととする**」と ひらがなを使用。(例) …をする**こととした**。

***** (さ行) *****

「**さい**」と「**際**」

: 「**際**」と 漢字を使用。(例) …を使用する**際**には、…。

「**さまざま**」と「**様々**」

: 「**さまざま**」と ひらがなを使用。(例) **さまざま**な機器を用いて、…。

「**さらなる**」と「**更なる**」、「**さらに**」と「**更に**」

: 「**さらなる**」や「**さらに**」と ひらがなを使用。(例) **さらなる**観測が…。

「**したがって**」と「**従って**」

: 「**したがって**」と ひらがなを使用。(例) **したがって**、…は…とみなす。

「**しだいに**」と「**次第に**」

: 「**しだいに**」と ひらがなを使用。(例) その後、**しだいに**減少する傾向…。

「**しめる**」と「**占める**」

: 「**占める**」と 漢字を使用。(例) …の大半を**占める**…は、

「**しょうじる**」、「**しょうずる**」と「**生じる**」、「**生ずる**」

: 「**生じる**」、「**生ずる**」と 漢字を使用。(例) …から…が**生ずる**ことがある。

なお、送りがなの使い方は任意とする。

「**すなわち**」と「**即ち**」

: 「すなわち」と ひらがなを使用。(例) すなわち、この例では…。

「すべて」と「全て」

: 「すべて」と ひらがなを使用。(例) すべての地点で…。

「そのほか」と「その他」

: 「そのほか」と ひらがなを使用。

(注) ただし、「その夕」と読ませるときには、「その他」と漢字を使用。

(例) そのほか、…は…。 その他多くの事例では、

***** (た行) *****

「たつ」と「経つ」

: 「経つ」と 漢字を使用。(例) 時間が経つと、…。

「たとえば」と「例えば」

: 「たとえば」と 漢字を使用。(例) たとえば、…は…と みなされる。

「つうじて」と「通じて」

: 「つうじて」と ひらがなを使用。(例) …は…をつうじて…に影響を与える。

「つぐ」と「次ぐ」

: 「次ぐ」と 漢字を使用。(例) …年は…年に次ぐ高温であった。

「つらなる」と「連なる」

: 「連なる」と 漢字を使用。(例) …と…とが連なって起こった。

「できる」と「出来る」

: 「できる」と ひらがなを使用。(例) …ごろ、…ができるようになった。

「でる」と「出る」

: 「でる」と ひらがなを使用。(例)

「とおり」と「通り」

: 「とおり」と ひらがなを使用。(例) …は、以下のとおりとなった。

「とき」と「時」

: 「とき」と ひらがなを使用。(例) このとき、…。…のときは、…。

「ともに」と「共に」

: 「ともに」と ひらがなを使用。(例) …するとともに、…。

「ともない」と「伴い」

: 「ともない」と ひらがなを使用。(例) …は…をともないながら、…。

「とらえる」と「捉える」

: 「捉える」と漢字を使用。(例) …の観測では、…が捉えられた。

「とりあげる」と「取りあげる」、「取り上げる」

: 「取り上げる」と漢字を使用。(例) 本項では、…を取り上げたい。

***** (な行) *****

「なかにも」、「なかで」、「なかでも」と「中にも」、「中で」、「中でも」

: 「なかにも」とひらがなを使用。(例) …例の事例のなかにも…。

「なかば」と「半ば」

: 「半ば」と漢字を使用。(例) 1980年代半ばに、…。

「のぞき」と「除き」

: 「除き」と漢字を使用。(例) …例中…例を除き、…。

「のち」と「後」

: 「後」と漢字を使用。(例) …の後、…

***** (は行) *****

「はいる」と「入る」

: 「はいる」とひらがなを使用。(例) 梅雨にはいると、…。

(注) 「入(い)れる」のときは漢字を使用。

「はじめとする」と「初めとする」

: 「はじめとする」とひらがなを使用。(例) …をはじめとし、…。

「はたす」と「果たす」

: 「果たす」と漢字を使用。(例) …という役割を果たしている。

「ひとつ」と「一つ」、「1つ」

: 「一つ」と漢字を使用。「二つ」、「三つ」など同様。(例) これは、…という例の一つである。

(注) 単位として「個」、「台」などの漢字がつく場合は、算用数字。1個、2台、3袋など。

「ふたたび」と「再び」

: 「ふたたび」とひらがなを使用。(例) …ごろ、ふたたび…が盛り返し、…。

「ふるまい」、「ふるまう」と「振舞い」、「振る舞い」、「振舞う」、「振る舞う」

: 「振舞い」や「振舞う」と漢字を使用。(例) …の振舞いは、…。

「ほうから」と「方から」

: 「ほうから」と ひらがなを使用。(例) 北のほうからみると、…。

(注) 「方」を「ほう」と読ませるときはひらがな。「かた」と読ませるときには「方」と漢字を使用する(か行参照)。

***** (ま行) *****

「まれ」と「稀」、または「希」

: 「まれ」と ひらがなを使用。(例) …のような例は、極めてまれである。

「まさる」と「勝る」

: 「勝る」と 漢字を使用。(例) …のほうが勝っている。

「まわる」と「回る」

: 「まわる」と ひらがなを使用。(例) …をまわって、…。

「みる」と「見る」、「みられる」と「見られる」

: 「みる」と ひらがなを使用。(例) …の図では、…存在がみられる。

ただし、漢字が続くときは漢字を使用。(例) 「見出す」や「見受ける」など。

「めぐる」と「巡る」

: 「巡る」と 漢字を使用。(例) …を巡っては、議論が分かれている。

「もちいる」と「用いる」

: 「用いる」と 漢字を使用。(例) ここで用いた資料は…。

「もつ」と「持つ」

: 「もつ」と ひらがなを使用。(例) …は、…の効果をもっている。

「もとに」と「基に」、「元に」、「下に」(後ろの漢字はそれぞれ意味が異なるが…)

: 「もとに」と ひらがなを使用。(例) …をもとにして、…を作成した。

「もとづく」と「基づく」

: 「基づく」と 漢字を使用。(例) …に基づく結果は、…。

***** (や行) *****

「よく」と「良く」

: 「よく」と ひらがなを使用。(例) …をよりよく抽出するためには、…。

「よぶ」と「呼ぶ」

: 「呼ぶ」と漢字を使用。(例) これを、…と**呼ぶ**。

***** (わ行) *****

「わがくに」と「わが**国**」、「**我が国**」、「**我国**」

: 「わが**国**」とする。(例) **わが国**では、…

「**わかる**」と「**分かる**」(「認識する」、「理解する」の意味)

: 「**わかる**」とひらがなを使用。(例) 図…から、…であることが**わかる**。

「**わけ**る」と「**分け**る」(「分割する」の意味)

: 「**分け**る」と漢字を使用。(例) …は、…と…に**分け**ることができる。

「**わけ**ではない」と「**訳**ではない」

: 「**わけ**ではない」とひらがなを使用。(例) この例から…といえる**わけ**ではない。

「**わず**か」と「**僅**か」

: 「**わず**か」とひらがなを使用。(例) …は**わず**かながら増加している。

「**わた**る」と「**亘**る」(なお、長年に渡るの「渡る」は誤用。)

: 「**わた**る」とひらがなを使用。(例) 長年に**わた**る観測から…。

「**われ**われ」と「**我**々」

: 「**われ**われ」とひらがなを使用。(例) **われ**われの実験では。

花輪公雄(2007)を改編

http://www.pol.gp.tohoku.ac.jp/~hanawa/open-siryo/report_manual.pdf

なお、学術用語については、文部科学省「学術用語集」、日本畜産学会編「新編畜産用語事典、2001年度版、用語集」、日本草地学会編「改訂草地学用語集、養賢堂」、日本寄生虫学会「用語集」(学会Webサイトにあります。)などを参照下さい。